小林市教育研究センター調査研究発表会並びに授業論文表彰式

いま、教育現場で求められている授業とは――

授業論文表彰式　市内小・中学校から33編の応募

授業論文は、教職員の資質向上を図り、学校教育の充実と発展を目指して募集しています。授業1単位時間（小学校45分、中学校50分）の様子を記録した映像と補足資料をもとに宮崎大学、県教育委員会の協力のもと審査を行い、2月12日に表彰式を行いました。

今年度は、児童一人一人が問いを持ち、他者と協働しながら学習問題に取り組むことで、多様な視点から物事を捉えて理解を深めたり、自分たちで解決策を見つけられるような授業実践が多く見られました。

授業論文（映像記録）※敬称略

一席	南小学校	教諭	日髙 愛棒音
二席	紙屋小学校	教諭	八田 祐貴
奨励賞	小林小学校	教諭	田中 朱宮
〃	西小林小学校	教諭	尾原 恵

学校の部

学校賞	紙屋中学校（校長　竹之内 千春）
躍進賞	三松中学校（校長　本田 正治）

授業論文一席　南小学校　日髙 愛棒音教諭

【研究主題】

児童が主体的・対話的に学び合い、問題解決する授業はどうあればよいか。
～児童一人一人が考えを生かした実験方法の実践～

【授業のポイント】

実験内容を児童自身に考えさせ、タブレットで実験ログを確認・共有するなど、ＩＣＴ機器を活用し、他者と協働しながら児童が考える機会を増やすことで、主体的かつ対話的な学び合いにつなげる授業実践を行った。

授業論文二席　紙屋小学校　八田 祐貴教諭

【研究主題】

主体的・対話的で深い学びの表現
～算数科における予想と比較を取り入れた授業を通して～

【授業のポイント】

算数科での「問題提示の工夫」、「予想させる・立場を表明させる」、「比較する」ことを取り入れた授業構成により、児童の主体性を高め、対話を深める実践事業を行った。

※これまでの優秀な授業論文の映像記録は、市立図書館で貸し出しを行っています

小中一貫教育実践発表（小林中学校区）

【共通目標】

自ら学び、自ら思いやり、自らきたえる　こどもの育成

【実践内容】

小林中学校区の３校（小林小・南小・小林中）が、生徒理解を深めるための情報共有や指導基準を明確化し各校の状況に応じた指導を行うなど、生徒が自発的・主体的に自らを発達させることを目指した実践を行った。

教育研究センター調査研究発表会

【研究主題】

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
～小林モデルの構築と授業実践をとおして～

【研究内容】

今年度は、国語科・こすもす科・英語科・道徳科の４つの班を編成し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るとともに、小林ならではの素材を活用した授業づくりを研究。当日は４つのブースを設定し、各班ごとに発表を行った。

●問＝学校教育課　TEL23-0424

きずな協働体通信

このコーナーでは、市内９地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

永久津サンタ御一行の気ままな旅

永久津いきいき協議会

永久津小児童とサンタ

永久津サンタ御一行

12月24日に、地域の宝である永久津の子どもたちの健やかな成長を願い、子どもたちにたくさんの笑顔とちょっとしたプレゼントを贈る恒例行事「永久津サンタ御一行の気ままな旅」を行いました。

サンタの格好をした永久津いきいき協議会のメンバーが、永久津保育園・永久津小・中学校をそれぞれ訪問。お菓子の詰め合わせや文房具などのちょっとしたプレゼントを渡し、笑顔いっぱいの子どもたちとふれあいました。

「永久津の子どもたちへ
お年寄りを敬い、地域愛に満ちたそんな心の豊かな青年にすくすくと成長してね！
永久津サンタ一同より」

おいしい須木米をぜひご賞味ください！

すきむらづくり協議会

すきむらづくり協議会インスタグラム

@SUKIMURAKYOU_KOUHOUBU

大自然に囲まれた須木地区で生産される須木米は、米作りに適した土壌ときれいな水、昼夜の寒暖差により、良質で食味の高いお米です。

昨年秋に収穫されたお米も大好評をいただいており、今年度からは、小林市のふるさと納税の返礼品としても出品しています。

すきむらづくり協議会では、来年度も多くの方に須木米を食していただけるよう、地元の生産者と一緒にがんばってまいります。スーパーなどの店頭で須木米を見かけた際は、ぜひ一度ご賞味ください。

●問＝すきむらづくり協議会　TEL48-3451

きずな協働体がコラボ！ 野尻中学校「卒業フライト」

輝けフロンティアのじり×南校区まちづくり協議会

輝けフロンティアのじり Facebook

南校区まちづくり協議会 Facebook

コロナ禍に子どもたちの笑顔を取り戻そうと、南校区まちづくり協議会が始めた熱気球搭乗体験。1月25日には、輝けフロンティアのじりと野尻中学校、南校区まちづくり協議会が協働し、野尻地区でも登場体験を開催しました。

中学校卒業前の思い出を作ってもらおうと、宮崎大学熱気球部の協力を得て「卒業フライト」を企画。３年生と保護者など80人が熱気球に搭乗しました。

上空から見る校舎や、朝日が昇る様子、ふわふわと空を飛ぶ体験など初めて経験することばかりで、生徒からは「貴重な体験ができた」、「大切な思い出をつくれた」など、よろこびの声を多数いただきました。